

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ 2年目 ・ 3年目)

法人名 社会福祉法人和光会
施設名 グループホーム ファミリーケア北方
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
4 移動支援機器(屋外型)	RT.ワークス株式会社	ロボットアシストウォーカーRT.2
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 10 月 13 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】 ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ロボットアシストウォーカーRT.2の機能により見守りのみで歩行可能な方を対象として、週に2日程度、事業所内と事業所外の近辺の散歩時に使用している。利用者のみで操作方法を理解してボタン操作を行うのは困難であり、職員が電源を入れて、使用中は付き添い、見守りを行っている。合計で6名の利用者の使用実績があった。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】 ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。 歩行時のリスク軽減、安全面が強化されたことで利用者の安定した歩行につながり、歩行時の転倒事故の防止につながった。 付き添う職員の負担軽減にもつながり、結果として前年度同様、事業所全体における転倒事故減少につながった。
【介護ロボットの導入効果】 ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。 利用者がボタン操作を理解することは困難である為、使用中は必ず付き添い、関わりをもつ必要性があったことから、介護時間の短縮にはつながっていないことは前年度と変わらない状態であった。手引き歩行をしていた利用者に対する直接介助の負担軽減と、リスクに対する職員の精神的な負担軽減が図れていることで職員にとっても満足度が高く、好評である。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 操作部の操作方法の理解、設定に関しては利用者本人で操作することは難しい為、電源ボタンを押すといった操作は職員で行っており、電源を入れた状態で使用していないと一定の時間経過後に電源が切れる仕様である為、必ず職員の介入が必要になっていることに関して、前年度と変わらない状態であった。 ※歩行器があることで概ね自立して歩行できる利用者がいるが、電源のON、OFFの理解は困難な方が多い為
--